

R4年度多文化共生の担い手連携促進事業 活用事例

《活用事例5》

申請団体名（共催団体名）

（公財）高松市国際交流協会（丸亀市国際交流協会）

事業概要

在住外国人住民、日本人住民、避難所運営者の防災知識と多文化共生の認識を深めることを目的として、避難所運営訓練を実施した。

申請区分

①担い手の広域的な連携を促進することを目的として実施する研修会、ワークショップ、意見交換等

②その他、広域的な担い手の連携または災害時の外国人支援体制強化に資すると認められる取組

活用のポイント

訓練に要する経費を助成金で申請した。

また、香川大学と連携し事業を実施した。学生が主体となり、外国人参加者との訓練を通じて起こる問題点や改善点などを確認しながら、防災・多文化共生の両方の担い手としての促進を図ることができた。

また、在住外国人、日本人、避難所運営者が一緒に防災訓練に取り組むことで、相互に希望すること、助けてほしいこと、知ってほしいことを共有し、防災知識と多文化共生の認識を深めてもらうことができた。

事業の様子

DISASTER PREVENTION WORKSHOP 2022
Making our evacuation shelters start from the beginning

【講師】Lecturer
香川大学国際教育管理教授 防災・避難所運営指導員 特任教授 長谷川 修一 氏
Dr. Shuichi Hasegawa

【日時】
令和4年11月27日(日) 13:00-15:30

【参加費・対象】
※ 無料 ※ 高松市に 住む 外国人 10名
11月18日までに 申し込み してください

【申し込み】
この QRコードから 申し込み できます
※ 電話からでも できます

主催 (公財) 高松市国際交流協会
協賛 丸亀市国際交流協会
協賛 香川大学国際教育管理機構
協賛 香川大学国際ボランティアネットワーク

お問い合わせ先
TEL: 087-837-6003 E-mail: tis-admin@hi.enjoy.ne.jp

事業チラシ



避難所巡回訓練の様子